

2013 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

132-SQ-J



I つぎの文章について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記し、マークすべきところはもっとも適切な語句または年などを選んで、その記号をマークしなさい。(20点)

平安時代の後半期に入ると、地方の豪族や有力農民が荒廃した田畑や原野の開発を行い、それらを中央の貴族や寺社に寄進し、みずからが下司などの荘官になって実際の経営を行った。寄進を受けた荘園の領主は、さらに上級の貴族や皇族に重ねて寄進を行い、そのような上級領主は本家と呼ばれた。公領(国衙領)でも豪族や開発領主が私領化をすすめ、彼らは徴税を請け負うとともに国司が派遣した(A)のもとで国衙の実務を担当する(B)となる者がみられた。

一方、京都では、それまでの宮廷の警備にあたる滝口の武士、京都の治安維持を管掌した(C)に加えて、院の御所を警備した武者所や(D)が設けられるようになった。地方の反乱に対しては、押領使や追捕使が派遣され、彼らのなかには在地領主として勢力をふるう者があらわれた。東国で(E)年に平将門が常陸国府を焼き払って関東の大半を占領した平将門の乱が発生すると、その乱を鎮圧した藤原秀郷の家は秀郷流藤原氏、平貞盛の家は桓武平氏として力を持つようになり、(F)の乱を平定した源経基の家は清和源氏として発展した。

この時代の文化としては、武士や民衆の生活とその背後に存在した地方文化を取り入れた新たな傾向がみられるようになった。民間に流行した(G)が貴族社会でもてはやされ、後白河法皇はそれを歌謡集に集成した。また、地方の合戦を描いた『将門記』や(H)などが書かれ、軍記物のはしりとなった。四天王寺が所蔵する大和絵の手法を取り入れた(I), 平清盛が(J)に奉納した『平家納経』などは、武士の時代の風潮をうかがわせる写経として知られている。

問1 空欄Aに入る適切な語句を記しなさい。

問2 空欄Bに入る適切な語句を記しなさい。

問3 空欄Cに入る適切な語句を記しなさい。

問4 空欄Dに入る適切な語句を記しなさい。

問5 空欄Eの平将門の乱が発生した西暦年をつぎの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 866年 イ. 939年 ウ. 969年 エ. 1028年
オ. 1051年

問6 空欄Fに入る適切な人名をつぎの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 平忠常 イ. 源義経 ウ. 藤原成親 エ. 源義親
オ. 藤原純友

問7 空欄Gに入る適切な名称をつぎの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 田楽 イ. 猿楽 ウ. 催馬楽 エ. 今様 オ. 白拍子

問8 空欄Hに入る適切な名称を記しなさい。

問9 空欄Iに入る適切な名称を記しなさい。

問10 空欄Jに入る適切な名称を記しなさい。

II つぎの文章について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記し、マークすべきところはもっとも適切な語句または年などを選んで、その記号をマークしなさい。(20点)

織田信長の有力家臣であった羽柴秀吉は、1582年の山崎の戦いで（A）に勝利するなど、信長の後継者としての地位を固め、1585年に関白、翌年に太政大臣に任じられて豊臣の姓を与えられた。秀吉は、全国の戦国大名に私戦を禁じて領国の確定を命じた（B）を発令した。また度、量、衡を統一し、各村の田畑や屋敷地の面積・等級を調査する検地を行い、土地の生産力を米の収穫高で表示する（C）を定めた。それまでの複雑な土地所有関係を整理し、農民の土地保有権を認めるとともに、農民に年貢納入を義務づけて、村ごとに納税の責任を負わせる（D）を徹底させた。また、秀吉は（E）年に農民の武器を没収する刀狩令を出し、身分統制を強化して兵農分離を推進した。

一方、秀吉の死後、関ヶ原の戦いで石田三成らを破って覇権を確立した徳川家康は、1603年に江戸幕府を開き、1614年から二度にわたる大坂の役で豊臣秀頼を滅ぼすことに成功した。幕府は、^(a)1615年に武家諸法度と一国一城令を定めて諸大名に対する統制を強化した。この武家諸法度は、三代将軍徳川家光のもとで以下の史料のように整えられ、幕府の大名統制の基本法令とされた。

「一、文武（F）の道、^{もっぱら}^{あいたしな}専ら相嗜むべき事。

一、大名・小名在江戸（G）相定むる所なり。毎歳夏四月中参勤致すべし。…

一、新儀の城郭構営堅くこれを禁止す。居城の^{こうらい}隍壘・石壁以下敗壞の時は、奉行所に達し其の旨を受くべきなり。櫓・^{やぐら}堀・^{へい}門等の分は先規の如く修補すべき事。

一、国主城主、一万石以上並びに近習・物頭は、私に婚姻を結ぶべからざる事。

一、（H）以上の船^{ちやうじ}停止の事」

〔御触書寛保集成〕原文は和様漢文)

問1 空欄Aに入る適切な人名を記しなさい。

問2 空欄Bに入る適切な語句を記しなさい。

問3 空欄Cに入る適切な語句を記しなさい。

問4 空欄Dに入る適切な語句を記しなさい。

問5 空欄Eに入る適切な年をつぎの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 1583 イ. 1588 ウ. 1592 エ. 1595 オ. 1598

問6 空欄Fに入る適切な語句をつぎの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 芸能 イ. 忠義 ウ. 両道 エ. 土風 オ. 弓馬

問7 空欄Gに入る適切な語句をつぎの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 御礼 イ. 参勤 ウ. 登城 エ. 交替 オ. 出費

問8 空欄Hに入る適切な語句をつぎの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 百石 イ. 五百石 ウ. 千石 エ. 五千石
オ. 一万石

問9 下線(a)について、家康の命をうけて尽力した起草者の人名を記しなさい。

問10 下線(a)に関連して、広島城無断修築のかどで領地を没収された武将の人名を記しなさい。

III つぎの史料を読んで、以下の各設問に答えなさい。(30点)

1. 琉球司法官からオランダ公使への書簡(1879年1月28日)

琉球は小国であり、明代の洪武五年すなわち西暦一三七二年に中国に して以来、永樂二年・西暦一三九九年に先王武寧が、明朝によって(1)に封ぜられ、今に至っています。わが国は外藩に列せられ、中国の年号や文字を用いていますが、内政は自治を許されています。大清国になってからは、二年に一度の が定例となり、大清国皇帝の即位の大札には、必ず家臣を祝賀に派遣してきました。また、わが国の国王が即位する際には、大清国から新王を(1)に封ずるための使節が訪れています。また、家臣の子弟を北京の国子監に留学させており、もしわが国の船が難破漂着した場合は、各省の総督、巡撫が食糧を与え船を修理するなどの援助をして帰国させています。わが国が中国の外藩に列せられて以来、今日まで五百余年の時を経ているのです。咸豊九年・西暦一八五九年、すなわち日本の安政六年に、大オランダ国の全権公使ジャベールが、通商条約締結のためわが国を訪れましたが、この際の約七項からなる条約には、漢文および大清国の年号が用いられています。証拠となる文書が貴公使の元に保存されていることでしょう。大合衆国・大フランス国もまたわが国と条約を結びましたが、そのころ日本との間では、旧 との間に往来があるだけでした。しかし、同治一年・西暦一八七二年、すなわち日本の明治五年に、日本はすでに を廃してわが国を無理やり東京政府の所管とし、わが国王を藩王として華族に列しました。しかしなお交渉事務は外務省の管轄^(a)でした。また、同治一二年すなわち西暦一八七三年、日本の明治六年には、わが国が大オランダ国・大合衆国・大フランス国との間に結んだ条約の原本を、日本の外務省に引き渡すように言い渡され、さらに同治一三年すなわち西暦一八七四年・明治七年の九月には、琉球に関する事務はすべて日本の内務省の管轄とするよう強制されたのです。そして光緒元年すなわち一八七五年・明治八年に、日本の太政官布告により、わが国の清国への およびわが国が清国から冊封を受けることを即時停止し、藩内における年号は明治を用い、日本の法律に基づいて藩内の官職制度を改革することが命じられました。わが国は幾度も日本に使節を派遣し陳情しましたが、日本は決して聞き入れようとしません

でした。わが国は小国といえどもこれまで大清国の年号を用い、大清国の恩恵のもとに自治を許されてきました。現在、日本はわが国に対し強制的な改革を行っています。

(出典) 歴史学研究会編『日本史史料』4巻。

問1 に入る適切な語句を漢字2字で記しなさい。

問2 (1) に入る適切な語句を以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 尚円王
- イ. 華族
- ウ. 中山王
- エ. 藩王
- オ. 太政官

問3 に入る適切な語句を漢字3字で記しなさい。

問4 下線部(a)に該当する適切な人名を漢字2字で記しなさい。

問5 明治政府は上記王国の漁民が殺害されたことを理由にある地域に出兵した。それが明治政府による初めての海外出兵となる。その地域の名前を以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 小笠原諸島
- イ. 台湾
- ウ. フィリピン
- エ. 韓国
- オ. 青島

2. 南総督談「司法上における内鮮一体の具現」(1940年2月)

此の度朝鮮民事令が改正せられ其の内容は親族法の諸種の点に互つているが、其の内半島人の真摯且熱烈な要望^{こた}に対して半島人が法律上内地人式の を称へ得る途を拓いた点は改正の重要な眼目であつて、内鮮一体の線に沿うた親族法上に於ける^{かつきてき}劃期的改正であると謂うことが出来る。(中略) 本令の改正は申す迄もなく半島民衆に内地人式の の設定を強制する性質のものではなくして、内地人式の を定め得る途を拓いたのであるが、半島人が内地人式の を称ふることは何も事新しい問題ではない。即ち往時内地に渡航した多数の半島人が内地人式の を称へて以来既に二千年を経て居ることは、「桓武天皇紀」、嵯峨天皇の御代勅命を奉じて撰ばれた「新撰姓氏録」の記載によつても明瞭なる所であつて、今日判然其の多数の を指摘し得る次第である。而も内地人式の を称へた之等無数の半島人は大和民族に薫化融合し、今日寸毫も半島人たる痕跡を留めて居ない程度に皇国臣民化して居る状態である。故に内鮮一体の理想から言へば、全半島民衆が近き将来において往時の渡航半島人の如く、形容共に皇国臣民化する日の到来することが望ましい次第である。

(出典) 歴史学研究会編『日本史史料』5巻。(表現は読みやすいように一部改めた。)

問6 文中 に該当する語句を漢字1字で記しなさい。

問7 本資料に現れている朝鮮半島での皇民化政策の内容として**不適切なもの**を

以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 神社参拝の強要
- イ. 日本語常用の強要
- ウ. 皇国臣民の誓詞
- エ. 宮城遙拝
- オ. 皇民奉公会の結成

問8 早稲田大学教授であった時に「古事記」「日本書紀」の文献学的批判を行
い国粹主義者達から非難され、その著書が出版法違反であるとして起訴され
た歴史学者の名を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 久米邦武
- イ. 白鳥庫吉
- ウ. 津田左右吉
- エ. 三浦周行
- オ. 中田薫

問9 武者小路実篤、志賀直哉、有島武郎など理想主義、人道主義、個人主義の
立場を取る文学者達は、1910年に一つの同人誌を創刊した。その同人誌の
名を漢字2字で記しなさい。

問10 プロレタリア文学の代表作の一つである「蟹工船」の作者の名を以下から
一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 小林多喜二
- イ. 鈴木三重吉
- ウ. 徳永直
- エ. 黒島伝次
- オ. 中野重治

3. 第二三回メーデー実行委員会「声明書」

1、昨日、皇居前広場附近で起こった事件は、メーデー行事が完全に終了し、デ
モ隊が解散した後、主として一部分子及びその影響下にあると思われる全学連旧朝
連等によって行われた事件であり、実行委員会としては直接関知しない所であるが
真に遺憾である。

2、一部分子の行動は平和と民主主義を護る国民的行事としてのメーデーを汚し
た反労働者的行為であり、我々は自らの力によってかかる行為を排撃して行くもの
である。

3, しかしながら政府が を始め露骨な弾圧政策をとり, 特にメーデー会場問題に関して裁判の決定を無視してまで皇居前広場を使用させなかった頑迷な態度が, 暴力行動に絶好の条件を与えたものであり, さらに警察官の発砲や催涙弾等の乱射により一層事態を激化せしめたものである。

4, メーデー実行委員会は政府の反省を要求し責任を追求するとともに, この事件を口実として反動政策を企図し, 並びにファッションの台頭に対しては断乎として闘うものである。^(b)

(出典) 歴史学研究会編『日本史史料』5巻。

問11 下線部(b)に関連して, メーデー事件は, 文中 に該当する法律を国会で通過させるための理由とされた。同じ年の7月に成立したその法律の名称を漢字7字で記しなさい。

問12 メーデー事件の起こった年を以下の中から一つ選び, その記号をマークしなさい。

- ア. 1947
- イ. 1950
- ウ. 1952
- エ. 1956
- オ. 1960

問13 1945年12月の労働組合法, 1946年の労働関係調整法, 1947年の労働基準法が保障する内容に含まれないものを以下の中から一つ選び, その記号をマークしなさい。

- ア. 女性・年少者の深夜就業の禁止
- イ. 労働委員会の設置
- ウ. 週48時間労働
- エ. 警察官と消防職員の団結権
- オ. 団体交渉権

問14 1950年6月に勃発した朝鮮戦争は1953年7月に休戦協定が結ばれた。その協定が調印された場所の地名を漢字で記しなさい。

問15 朝鮮戦争により、アメリカ軍による繊維・金属などの調達が急速に伸びて好景気となった。この景気を何というか。

IV つぎの文章(1~8)の空欄(ア~ク)に入れるのもっとも適切な語句を考え、正確な漢字で記入しなさい。人名の場合は姓名を記入すること。また、括弧(①~⑦)については、もっとも適切な語句をそれぞれの括弧の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。(30点)

1. 1867年に和泉国に生まれた(ア)は、海軍兵学校を卒業後、日清戦争や日露戦争に参加した。1923年に海軍大将となった。連合艦隊司令長官・海軍軍令部長などを務め、1929年には侍従長になった。二・二六事件では反乱軍に襲撃されて重傷を負った。1944年に枢密院議長となり、1945年には内閣を組織した。同年8月の原爆投下とソ連参戦により、ポツダム宣言を受諾した。このうち、ソ連の対日参戦は、①(a. カイロ会談 b. 大西洋憲章 c. ヤルタ会談 d. テヘラン会談 e. モスクワ外相会談)での米ソ間の密約によるものであった。彼は、戦後に再び枢密院議長になった。1948年没。

2. 1872年に堺県に生まれた(イ)は、帝国大学法科大学を卒業後、外務省に入った。外務次官・駐米大使などを歴任し、1924年には外務大臣となった。中国内政不干涉政策を唱え、五・三〇事件などに対処した。1929年には再び外務大臣に就任し、ロンドン海軍軍縮条約の締結に尽力した。満州事変では不拡大方針をとったが、1931年末に退陣した。戦後の1945年10月には内閣を組織したが、この内閣は、②(a. 一億総懺悔論を提唱 b. 昭和電工事件で総辞職 c. 警察予備隊を設置 d. GHQの民主化指令を拒否して総辞職 e. GHQ草案を基礎とする憲法改正草案要綱を作成・公表)した。1951年没。

3. 1877年に和歌山県に生まれた(ウ)は、海軍兵学校卒業後、日露戦争に従軍した。海軍軍令部次長・横須賀鎮守府司令長官などを歴任した。1932年の第一次上海事変には第三艦隊司令長官として臨んだ。上海での天長節祝賀式場で、爆弾事件により右眼をうしなった。1933年に海軍大将となり、1939年には外務大臣に就任した。その後、駐米大使となり、日米交渉に尽力した。日米交渉のために作成された日米諒解案には、後にアメリカから通告されるハル・ノートとは異なり、

③ (a. 日独伊三国同盟の破棄 b. 「満洲国」の承認 c. 多面的不可侵条約の締結 d. 仏印・中国からの全面的撤兵 e. 蒋介石政権以外の中国政権の否認) が明記されていた。彼は、戦後には参議院議員になった。1964年没。

4. 1902年に沖縄県に生まれた④ (a. 伊波普猷 b. 謝花昇 c. 瀬長亀次郎 d. 屋良朝苗 e. 大田昌秀) は、広島高等師範学校を卒業し、沖縄県立第一高等女学校・台北師範学校などで教鞭をとった。戦後、知念高校校長・沖縄群島政府文教部長などを務めた。1952年に沖縄教職員会の会長となり、1960年には沖縄県祖国復帰協議会の会長となって、祖国復帰運動を行った。1968年には、はじめての(エ)〔漢字4字〕主席公選で革新側から立候補して当選し、主席となった。復帰後の1972年には沖縄県知事となった。1997年没。

5. 1907年に徳島県に生まれた(オ)は、明治大学を卒業後、1937年の総選挙で初当選し、以後19回連続当選した。1947年には国民協同党を結成して、書記長(のち委員長)となった。同年、通信大臣になった。その後、国民民主党最高委員・改進黨幹事長となり、保守合同後の鳩山内閣では運輸大臣になった。1956年には石橋内閣の下で、自由民主党幹事長となった。金脈問題で田中角栄内閣が総辞職した1974年には、党再生の切り札として総裁に推薦され、内閣を組織した。首相在任中に⑤ (a. リクルート事件 b. 信濃川河川敷問題 c. ロッキード事件 d. 造船疑獄事件 e. 佐川急便事件) が明るみに出たため、これを徹底究明しようとしたが、党内の反対と総選挙での敗北により退陣した。1988年没。

6. 1912年に岡山県に生まれた⑥ (a. 太田薫 b. 賀川豊彦 c. 西尾末広 d. 鈴木文治 e. 鈴木茂三郎) は、大阪帝国大学を卒業後、宇部窒素(現宇部興産)に入り、硫酸課長になった。1946年に宇部窒素労働組合長になった。1950年には合成化学産業労働組合(合化労連)委員長に就任し、1958年には日本労働組合総評議会(総評)議長となった。この間、総評主導による横並び方式の賃上げ闘争である(カ)〔漢字2字〕を開始し、賃上げ闘争方式として定着させていくことに成功した。1998年没。

7. 1919年に東京に生まれた(キ)は、東京帝国大学法学部を卒業後、大蔵省に入った。1949年、池田勇人大蔵大臣の秘書官となり、語学力を駆使して対米交渉に力を発揮した。1962年に池田内閣の経済企画庁長官となり、その後、通産大臣・外務大臣・大蔵大臣などを歴任した。1991年には内閣を組織したが、汚職事件が頻発する中で、政治改革を実現できず、内閣不信任案を可決され、総選挙でも敗北して、辞任した。首相在任中に、⑦(a. 電電公社・専売公社・国鉄の民営化 b. 消費税の創設 c. 湾岸戦争での多国籍軍への多額の資金援助 d. ドル高是正のためのプラザ合意 e. P K O協力法の制定)を実現させた。2007年没。

8. 1905年に秋田県に生まれた(ク)は、早稲田大学英文科を中退した後、電気業界誌『国民時論』に入った。1930年、移民団に入ってブラジルに渡った。その経験をもとにして小説『蒼氓』を書き、1935年に第一回芥川賞を受賞した。1938年、日中戦争の従軍体験をもとに『生きてゐる兵隊』を書いたが、新聞紙法違反に問われた。戦後は、『風にそよぐ葦』『人間の壁』『金環蝕』を書くなど、旺盛な作家活動を行った。1985年没。

